

『my プロジェクト』実践報告書

(1) 単元目標

・3年生から取り組んできた総合的な学習や日々の暮らしの中での活動を通して、自分が抱いた興味・関心・問題意識をもとに、地域・社会の現実問題と自分のくらしとのかかわりについて意欲的に考えることができる。

【取り組む力・見つける力・調べる力】

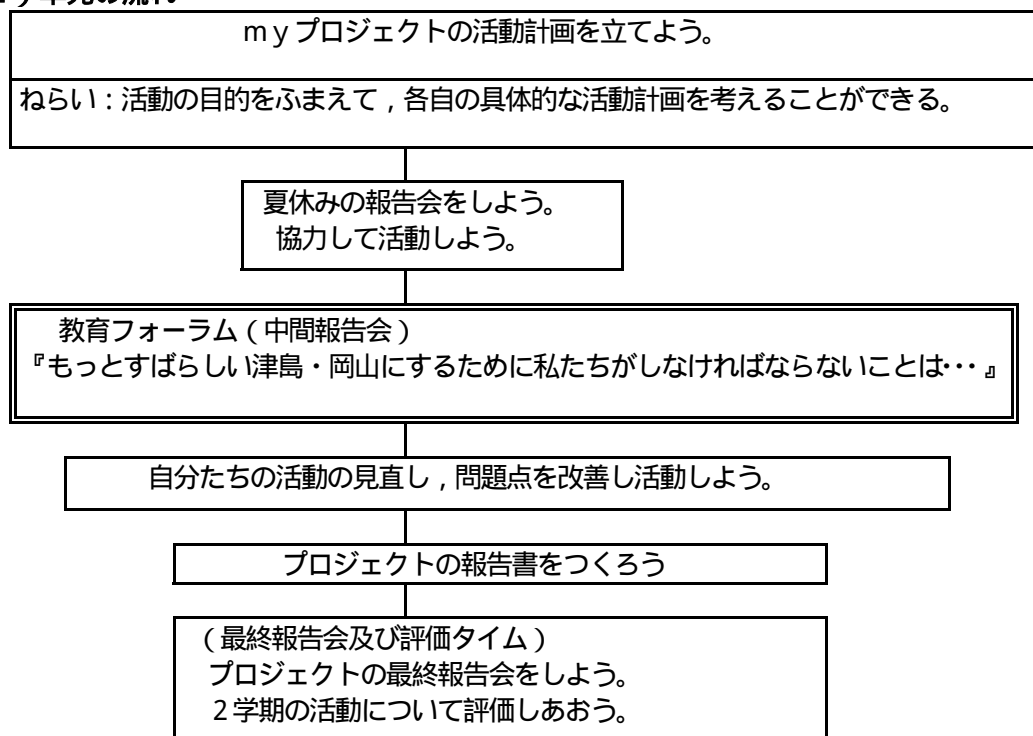
・自分がもった問題を解決する内容や方法について友達と話し合ったり、地域の方や外部専門家への取材や共に行動する活動を通して、学んだことを自分の生活に生かすことができる。

【生かす力・かかわる力】

・一人一人が活動してきたプロジェクトに対する自分の考えを地域や他地域の人たちと意見交流する活動を通して、共有できた思いを表現することができる。

【表現する力】

(2) 単元の流れ



(3) 活動の概要

子どもたちは、2学期からどのような活動に具体的に組み込んでいくことが価値あることなのかを考えながら、夏休みに調査活動に取り組んだ。2学期に入り、各学級で夏休みの活動を報告した後、2学期の活動のテーマを話し合っていた。子どもたちの思いは、「少しでも津島・岡山をよりよくしていきたい。」「活動を通して自分が成長できるといいな。」であった。そこで、個々の興味関心・問題意識を大切にしながら、津島・岡山をよりよくするために自分にできることは何かを考え行動していくことになった。内容は、安全、福祉、国際理解、環境等々多岐に分かれ、同じ思いをもつ者・近い思いをもつ者同志がグループを編成していった。そして、大きく『安全・安心で元気な町づくり』『津島から世界へ』『美しく・やさしい街 津島』の3つのテーマのもとに活動を進めていった。

テーマ『津島から世界へ』

「津島のよさ、岡山のよさを外国の人にもっと知ってもらいたい。」「世界の恵まれない子ども達を支援する活動に協力したい。」という思いを持つ子ども達が集まり、3つのグループに分かれて活動した。

岡山のよさを外国の人に広める【岡山交際発見隊】

岡山空港で働いている人にインタビューをしたり、後樂園についてのアンケートを作り、留学生会館や岡山に住んでいる外国の人に答えてもらったりして、岡山市の観光客の現状や後樂園の知名度などを調べた。その結果をもとに、後樂園のよさをもっと知ってもらい、大勢の外国人に後樂園を訪れてもらうにはどうしたらよいかを考え、ポスター作りやパンフレット作りに取り組んだ。また、「教育フォーラム」で「もっと他の観光地についても広めていくとよい。」とのアドバイスを頂き、自分達のお気に入りの岡山の観光地についても調べ、活動を広げていった。

（教育フォーラムで地域の方

へ発表）

津島国際支援協力【Make children smile in the world】 【カンボジアの子ども達に愛の手を！】

世界の恵まれない子ども達を支援する活動に協力したいという思いから、有森裕子さんの animoミュージアムやAMDAの本部に見学に行き、それぞれの活動について調べた。また、インターネットや書籍で、カンボジアの歴史や現状について調べたり、HGの事務局長である田代さんに学校に来て頂き、カンボジアの現状について写真や映像を見ながら詳しく説明してもらったりして情報を得た。それらの現状から、カンボジアの子ども達を少しでも援助して明るく楽しい生活ができるようにしたい、子ども達の笑顔をもっと輝かせたい、と思うようになった。そこで、みんなに呼びかけて、鉛筆や消しゴム、ボールペン、歯ブラシ、石けん等を集めたり、学区のお店を回り集めた紙で手作りのノートを作ったり、あいいうえおカード作りに取り組んだりした。また、「まなびピア」ではHGのテントを手伝う経験もできた。そして、輸送費を集めるために募金活動を行い、プレゼントをカンボジアに送った。年明けには、田代さんからカンボジアに支援活動に行ったときの報告が届き、カンボジアの子ども達の笑顔を見て、自分達の活動が役立ち喜ばれたことを実感した。